

道の駅講演会「北海道らしい魅力ある道の駅を目指して」を開催しました

地域景観ユニット

平成20年3月14日に、当研究所及び(財)北海道道路管理技術センターの主催、帯広開発建設部の共催により、道の駅講演会「北海道らしい魅力ある道の駅を目指して」を、帯広市商工会議所において開催しました(写真-1)。

当研究所と北海道地区「道の駅」連絡会の事務局である(財)北海道道路管理技術センターでは、利用者の視点で道の駅のツーリング環境を検証し、競争力ある北海道観光に貢献できるよう、利用者にも地域にも喜ばれる北海道らしい「道の駅」の実現を目指し、共同研究を進めております。

今回の講演会は、この共同研究の一環として、北海道で唯一、地域で独自に道の駅利用推進協議会を設立し活動を行っている十勝管内の道の駅関係者を対象に、これらの研究についての協力と理解を深めてもらうことを目的として開催したものです(表-1)。

初めに、東京大学アジア生物資源環境研究センター堀繁教授から「みんなが幸せになれる道の駅を目指して～おもてなしの心をハードで伝える表現方法～」と題し、基調講演をいただきました(写真-2)。

講演では、道の駅の3機能(休憩・情報発信・地域連携)は密接に関係しており、休憩機能の魅力が向上すると、滞在時間やリピーターが増加し、道の駅の経営や利用者の満足度の向上に貢献することなど、これまでに、先生が手がけた事例などを交えてお話をいただきました。



写真-1 当研究所 加治屋上席研究員の挨拶の様子

表-1 道の駅講演会のプログラム

- ・基調講演：
「みんなが幸せになれる道の駅を目指して
～おもてなしの心をハードで伝える表現方法～」
東京大学 アジア生物資源環境研究センター
教授 堀 繁
- ・報告1：
「北海道の道の駅の現状と課題」
(財)北海道道路管理技術センター
調査第1部 技師 池田 貴雄
- ・報告2：
「北海道の快適なツーリング環境創出に必要な
道の駅の魅力向上に関する研究概要について」
(独)土木研究所 寒地土木研究所
主任研究員 松田 泰明

続いて、報告として、道路管理技術センターから北海道の「道の駅の現状と課題」を、寒地土木研究所から前述の共同研究の概要について報告を行いました。

当日は、北海道開発局や、道の駅に関係する十勝地方の市町村の行政機関などから、40名以上のご参加をいただきました。

なお、今後の各種セミナーの開催予定などは、随時、当研究所 寒地道路研究グループのホームページ(<http://www2.ceri.go.jp/jpn/>)に掲載しますので、ご参照いただければ幸いです。

(文責：前 地域景観ユニット 松山 雄馬)



写真-2 東京大学 堀繁教授の基調講演の様子